



東北福祉カレッジ

The northeast welfare college

相談支援従事者現任者研修 インターバル実習 受け入れ機関様向け手引き

受講生の方へ

- ・本手引きは、受講生が基幹相談支援センター、委託相談支援事業所または指定特定相談支援事業所にインターバル実習をご依頼するにあたり、受け入れ機関側にご依頼する点検項目などを説明するための手引きです。
- ・受講予定または受講決定通知者は受け入れ予定機関にご依頼の際に、必ず印刷しご提供ください。

実習受け入れ先機関 担当者様

この度は、東北福祉カレッジ 相談支援従事者研修
受講者様の実習先としてご協力いただき誠にありがとうございます。
受講者様がお持ちになった、実習課題についてご確認いただきたい点を本紙に記載いたしました。
ご不明点があれば、お手数をおかけいたしますが下記専用問い合わせアドレスまで
ご連絡くださいますようお願いいたします。

相談支援従事者研修 実習受け入れ機関様専用アドレス：

tohoku.soudan.toi@gmail.com

ご連絡の際には、機関(事業所)名、実習ご担当者様名を必ずご記載ください。
受講生より上記アドレスに連絡があった際には、返信はいたしません。

令和7年4月策定 VOL1 東北福祉カレッジ 指導監査課

目 次

号	内 容	ページ数
1	・はじめに	P3
2	・カリキュラム日程	P3
3	・インターバル期間中の課題の概要	P4
4	・インターバル実習受け入れ機関確認項目【全体共通】	P5
5	・受講生インターバル実習ガイダンスに記載してある注意事項について ・参考資料 インターバル実習 書式一式	P6～P17

参考資料

・和歌山県相談支援従事者初任者研修(A) インターバル課題への対応説明書/令和6年度 和歌山県障害福祉課



1. はじめに(再掲)

- ・本手引きは、受講生が基幹相談支援センター、委託相談支援事業所または指定特定相談支援事業所にインターバル実習をご依頼するにあたり、受け入れ機関側にご依頼する点検項目などを説明するための手引きです。
- ・受講予定または受講決定通知者は受け入れ予定機関にご依頼の際に、必ず印刷しご提供ください。

2. カリキュラム日程

日 程	内 容
第1回実習	<ul style="list-style-type: none">・インターバル1(課題実習①、書式1-1、1-2)
1日目	<ul style="list-style-type: none">・研修ガイダンス・講 義:障害福祉政策の現状、相談支援の基本姿勢、意思決定支援について・演習(事例検討:意思決定支援)
第2回実習	<ul style="list-style-type: none">・インターバル1(課題実習①、書式2, 3, 4, 9)
2日目	<ul style="list-style-type: none">・講義と演習:チームアプローチ・講義:スーパービジョン
3日目	<ul style="list-style-type: none">・演習:グループスーパービジョン・講義と演習(コミュニティワーク)

留意事項

- ・実習期間の日数は必ずしも全日程実習先に滞在にて研修をする必要はありません。実習先の都合を考慮し、ご自身のケース記録をアドバイスいただけるようにご調整、ご依頼をしてください。



3. インターバル期間中の課題の概要

受講生は第1回および第2回インターバル実習期間中に、協力いただく利用者さんについて実践例を作成します。実習受け入れ機関先様においては、本紙 P4～P23に記載されている点をご確認いただき、受講生の方にアドバイスいただけますようお願ひいたします。

・**第1回:インターバル実習作成課題**

- ・書式1-1:実践例の概要
- ・書式1-2:ストレングスマセメント
- ・書式2:エコマップ

留意事項

- ・課題(1回目) → 受講生が作成します。※受講生専用ページにエクセル版がございます。
- 受講生は、実習受け入れ機関様に向けてあらかじめ指示がある内容で発表をします。記載についてのご確認、ご助言をいただきますようお願ひいたします。

・**第2回:インターバル実習作成課題**

- ・【書式3】ヒアリングシート
- ・【書式4】コミュニティワークシート
- ・【書式6】演習・地域実習振り返りシート
- ・【書式9】地域の相談支援体制・(自立支援)協議会について

留意事項

- ・課題の確認書(2回目) → 受講生は実習受け入れ機関様にご確認いただいた課題を、研修中でグループ発表します。グループワークの中で出された提案を参考に、実践した内容の記載がされています。実習受け入れ機関先様においては、修正された点も含めて再度確認をいただき、受講生の方にアドバイスいただけますようお願ひいたします。

4. 実習受け入れ機関様 ご確認項目【全体共通】

内 容	
1	☑書式の全ての枠に漏れなく記載されていること(空欄があった場合は該当する記載内容がない場合は「該当内容なし」「特になし」等を記載するように伝えてください)
2	☑個人を特定できる情報が記載されていないこと ・氏名、住所、関係機関名等
3	☑明らかに不適切な表現がないこと ・人権を侵害するような表現や障害者差別だと思われるような表現がないこと ・本人を無視したような表現を記載していないこと
4	☑現時点において受講生が関わっているケースである

留意事項

※同じ事業所の受講生がコピーした内容を提出していないにも注意が必要です。

※各課題については「チェックポイント」を参考資料に直接赤字で記載しています。

5. 受講生向け実習課題ガイドに記載してある注意事項について

	内 容	備 考
1	・実践例提出にあたっては本人等の同意を得てください。	
2	・提出様式作成に当たっては、本人等が特定できる可能性のある情報をすべて伏せてください。	1. 本人、家族、関係機関はすべて仮名か記号にすること。(イニシャル不可) 2. 住所は「○○市」や「○○町(○○郡)」記載しないこと」とすること。 3. 生年月日は生年のみ(例:昭和30年)とし、年齢は~歳台としてください。 4. 電話番号は一切記入しないでください。
3	・資源や地域の課題について、よくわからぬ場合は、自治体や各圏域にある基幹相談支援センター等へ問い合わせをしていただいて構いません。	

留意事項

※受講生には、上記を特に通達しております。実習受け入れ機関先様におかれましても、ご確認いただきますようお願いいたします。

参考資料

・書式 1-1

事例報告書

事例提供者名

書式 1-1

イニシャル:

性別:

年齢:

障害名(程度)・区分:

福祉サービスの利用状況:

検討したいこと(相談支援専門員が支援の中で困っていること)

チェックポイント:

困っていることや検討してほしい内容を分かりやすく伝わるように記載されているか?

主訴(相談に来た理由、どうしたいか)

チェックポイント:

本人から主訴が記載されているのか?

利用者の特徴

生活歴(どのような生活を送ってきたか、楽しかったこと、興味を持ったこと、悲しかったことなどの

エピソード)

社会的状況(家族関係・友人関係・学校・職場・福祉サービス利用など)

①誰が困っているのか(本人・家族・学校・職場等) *複数可

②いつ頃から困ったことが生じたのか

③主訴に対して様々な情報から、あなたはどのように解釈したか(見立て)

④検討したいことに対して、あなたはどのように支援をしてきたか(支援経過)

⑤その結果改善されたか

・書式1-2 ストレングスアセスメント

書き出し【●】本人の言葉

【○】家族等の言葉

【・】事実や行動(社会資源等)

本人の名前(通称):

グループ・事例提供者氏名

A 現在のストレングス
私の今のストレングス
個人:環境B (未来の)希望:願望:熱望
何がしたいか:何が欲しいかC 過去の資源
どのようなストレングスを
使ってきましたか

チェックポイント:「本人の言葉」と「家族などの言葉」と「事実や行動」を分けて記載されているか?

家・生活環境 (住居、日常生活、移動手段、行動範囲など)

--	--	--

経済状況

--	--	--

日中活動 (就労、教育、専門知識、通所、通学含む)

--	--	--

社会的支援 (家族、友人との関係、所属、サポートネットワーク、支援の人間関係)

--	--	--

健康状態（快適な状態、受診など医者を含む）

--	--	--

余暇活動（趣味、レクリエーション）

--	--	--

Spirituality 文化 / 生きがい（大事にしていること、人生観、家族観、価値観）

--	--	--

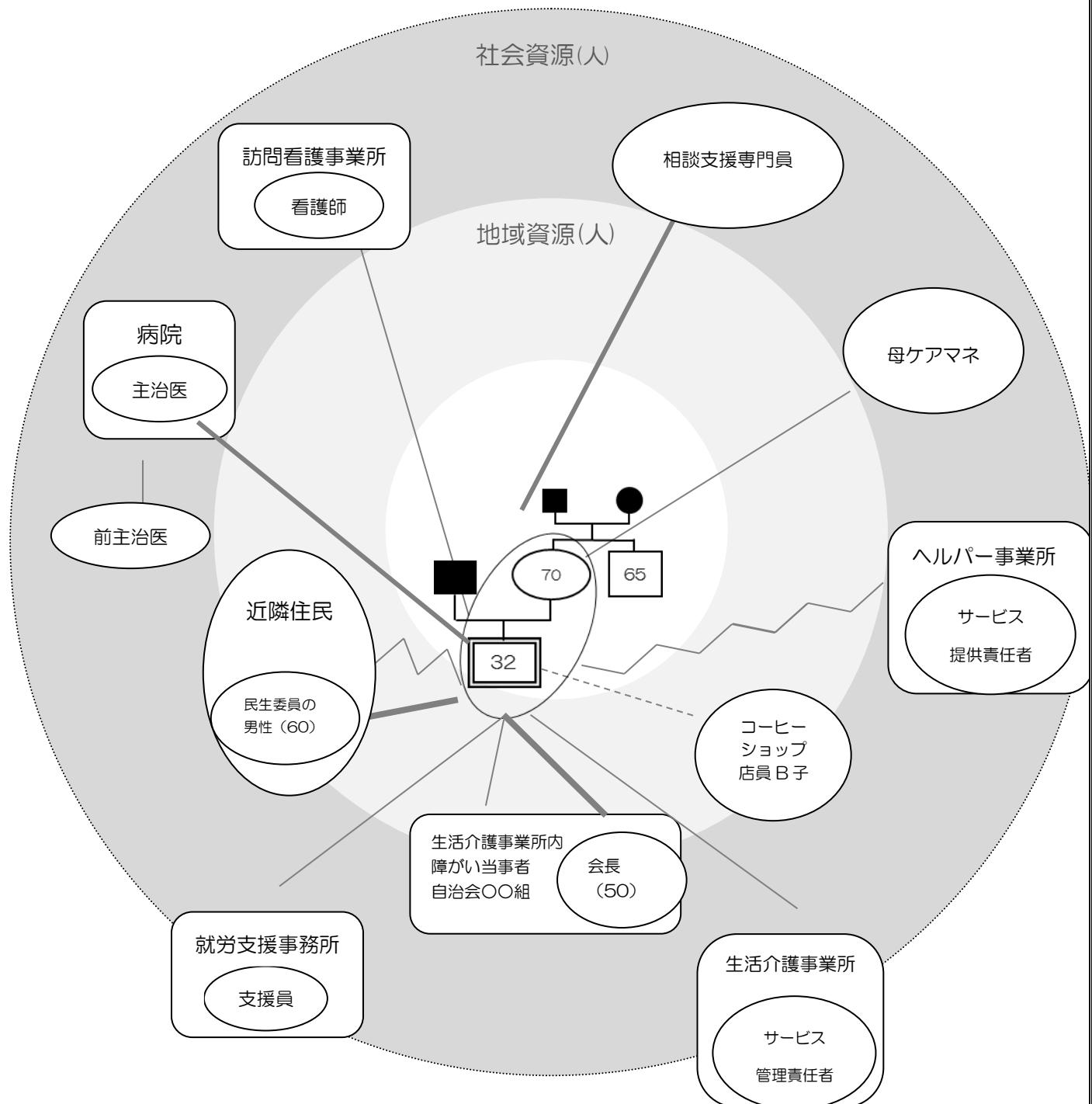
私の希望・願望の優先順位は

- 1)
- 2)
- 3)
- 4)

追加コメント・わたしを理解するために大切なこと

参考資料

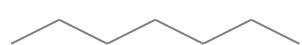
・書式2:エコマップ



<関係> 弱い ←

→強い

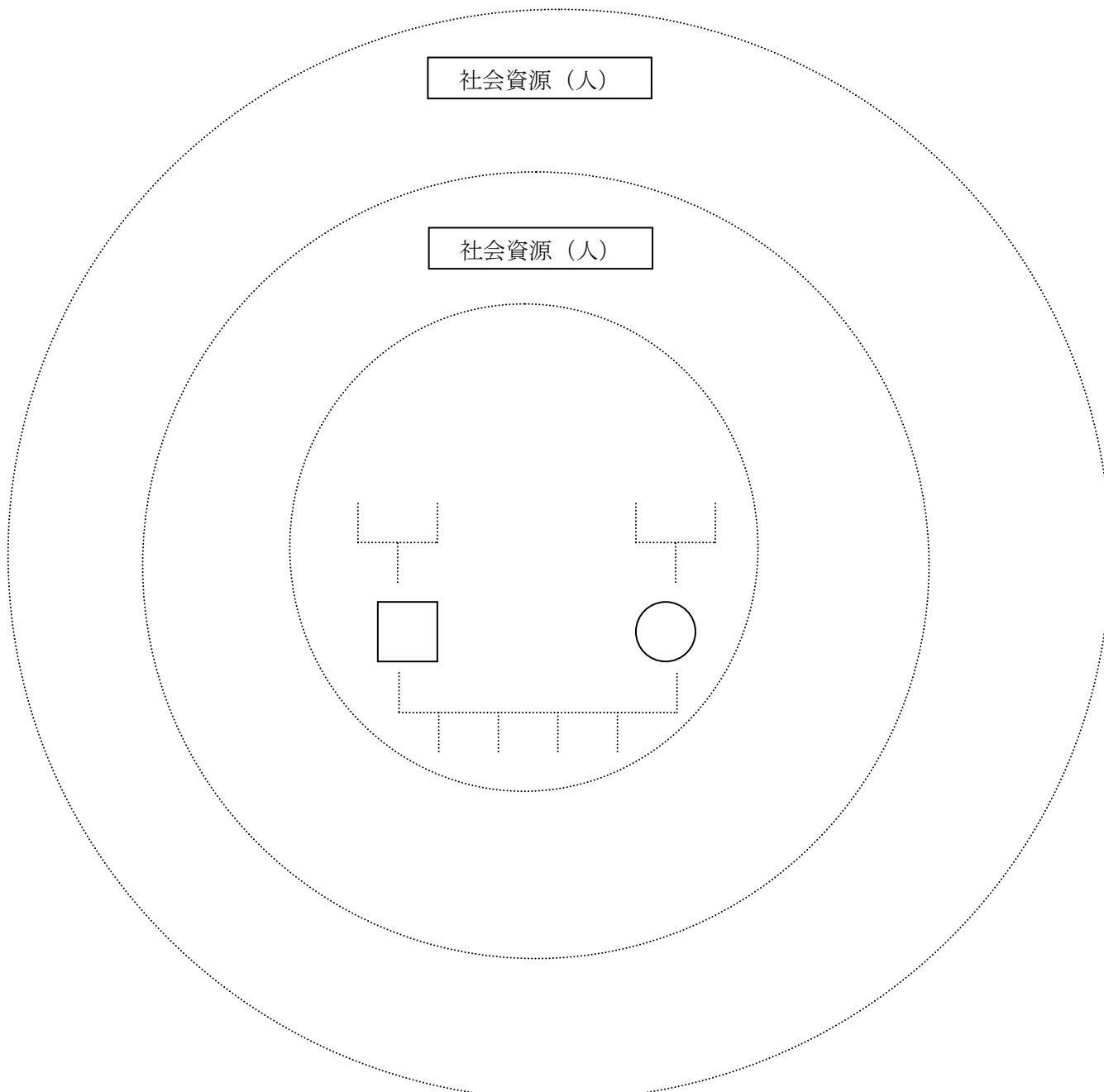
葛藤



受講者名

エコマップ

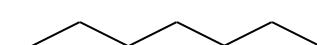
チームアプローチにおける 支援方針	チェックポイント: 支援方針の内容として記載されているか?
チームアプローチの展開でこまっていること	チェックポイント: 展開で困っていることとして記載されているか? (もし上記の支援方針と同じ内容を記載されている場合はその違いを伝えてください)



＜関係＞ 弱い ←

→ 強い

葛藤



書式3 演習・地域実習振り返りシート

参考資料

受講者名：

演習・地域実習振り返りシート①

1. グループで出された助言について

①自己の振り返りや実践報告・検討を通して確認された支援者自身の気づき・グループメンバーからの助言

②今後取り組む内容

2. 地域実習で取り組んだ内容と効果について

①②に記載した内容に対して実際に取り組んだ内容とその効果

②基幹相談支援等との共有内容や助言等

③地域実習期間での気づき・考察

・書式4：コミュニティワークシート

参考資料

受講者名：

令和6年度相談支援従事者現任研修コミュニティワークシート

＜課題説明＞

- 事例シートの項目に沿って、「利用者中心としながらインフォーマルな関係性の構築などにつながった事例」について資料の作成をお願いします。
- 添付のデモ事例資料を参考に作成してください。
- 事例作成に際しては、本人の氏名、居住の地域や利用する施設、サービス等が特定されないように、まったく関連性のない名称やアルファベット等に置き換えることにおくれぐれもご留意ください。

都道府県名：

受講者氏名：

【事例概要】

【出会い】

【ニーズの把握】

【利用者から見える風景及び置かれている環境(エコマップ)】

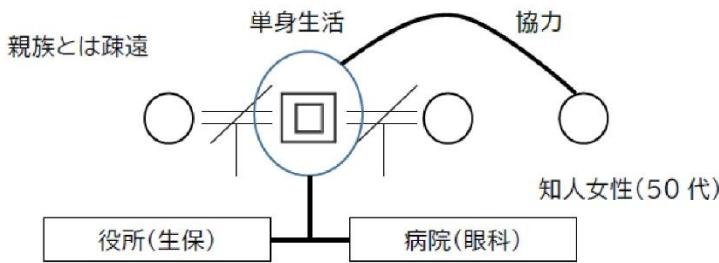
【関係性の構築とプロセス及び関係性の変化(アフターエコマップ)】

チェックポイント:モデル事例のように新しく関わった資源を「黒塗り」あるいは別の方法で、増えた資源であることが分かるように作成されているか

【結果】

参考資料

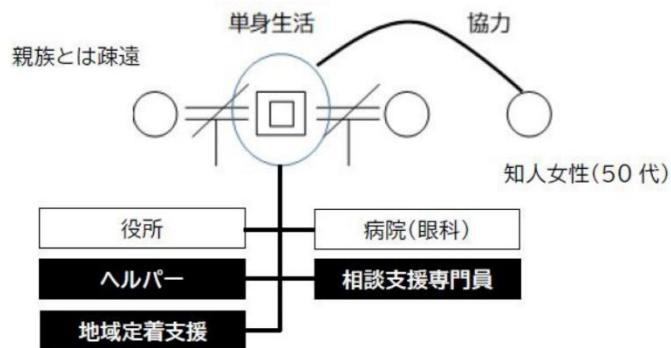
令和5年度相談支援従事者指導者養成研修（地域づくりコース）事例シート（モデル事例）

都道府県名：モデル県	受講者氏名：モデル太郎
【事例概要】	
Kさん（48歳・男性）、糖尿病性網膜症（視覚障害1級）、単身アパート生活（離婚歴2回あり）で生活保護を受給中。外出することではなく、知人の女性に弁当や買い物を頼んで生活している状況。	
【出会い】	
若い頃から酒量が多く、30歳代で糖尿病の診断を受ける。40代前半で2回目の離婚をしてから、単身アパート生活となる。その後、40代半ば頃より視力低下が顕著となり電気工事会社の仕事を退職。以後、生活保護を受給しながら暮らしている。これまで屋内を手探りで何とか生活することができていたが、光が分かる程度に視力低下が進み外出時の危険性が増したため、障害福祉サービスの利用を希望した。そこで相談支援専門員と出会う。	
【ニーズの把握】	
初回のサービス等利用計画作成時は、生活の安心と安定を目的に家事援助（買い物と調理支援）を月30時間と通院等介助を月に5時間、地域定着支援の支給を受けた。モニタリング期間は毎月の決定を受ける。モニタリングの際に自宅訪問すると、本人はテーブルに顔を伏せ、元気なく迎える状態であった。ヘルパーの支援にはある程度満足しており、生活のしのぎは軽減しているものの、抑うつ感が強く、訪問中も深いため息を吐くことが続く。モニタリングでは、障害福祉サービスの利用満足度を把握することに加えて、ご本人の華の時代の会話に焦点を当てるよう意識した。相談支援専門員が関わり始めてから半年を過ぎる頃に、「必要な障害福祉サービスを利用しながら、今のアパートで安心して一人暮らしをしたい」ということと、「同行援護を通じて道を覚え、ゆくゆくは自力で移動できるようになりたい」というニーズに加えて、「何でも話せる仲間を作り、楽しく交流して充実した人生を送りたい」というニーズを把握した。	
【利用者から見える風景及び置かれている環境（エコマップ）】	
1. 出会いの時点 現状「知人女性、眼科、役所との接点」	
	
【関係性の構築とプロセス及び関係性の変化（アフターエコマップ）】	

2. サービス等利用計画作成時

テーマ「障害福祉サービス関係者との出会い」

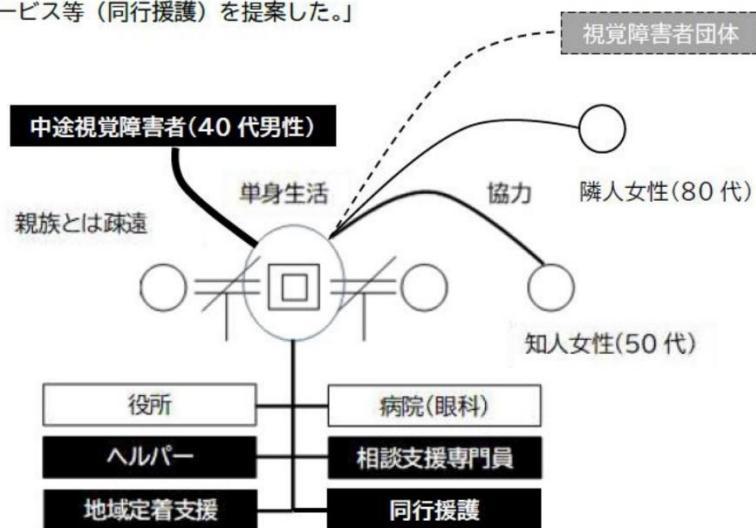
相談支援専門員の想いと支援「生活の安定を図るために障害福祉サービス導入し、モニタリングを通じて信頼関係を構築しながら真のニーズの把握した。」



3. 6ヶ月～1年目

テーマ「障害当事者との出会いによる情報量のアップ」

相談支援専門員の想いと支援「ご本人のハートに響く支援のために、同じ立場の障害者との出会いやご近所との接点をつくるとともに、ご本人の気持ちの変化を踏まえて不足しているサービス等（同行援護）を提案した。」



書式 5:地域の相談支援体制・(自立支援)協議会について

参考資料

受講者名:

○地域の相談支援体制・(自立支援)協議会について

地域の相談支援体制について(指定特定・委託・基幹が担う役割や機能がどのように整理されているか)

チェックポイント:三層構造の理解をした上で記載されているか?

わが町の(自立支援)協議会の機能・役割・構成について ※構成図添付可

チェックポイント:自分の地域(市町村区)の現状を踏まえた内容を記載されているか?もし自身の地域ではない場合はどこで情報を得られるかを伝えるようお願いします。

わが町の(自立支援)協議会にて取り組んでいる課題について

あなた自身の(自立支援)協議会への参画状況について

受講生名：

地域課題を抽出し解決に向けた協議着を行うためのフロー図

<課題説明>

- 貴方の地域において、個の課題はどのような流れ（仕組み）で地域の課題として共有・協議されていますか。その流れについて貴方がイメージするフロー図を作成してください。
- 協議会の既存の組織図を活用してフローを示されることは大丈夫ですが、組織図を転載するのみで、フローが示されていないということは避けてください。
- 参考として例を添付しています。

(問)

- 個の課題をどのように共有していますか？
- 個の課題から地域課題をどのように見出していますか？
- 個の課題から集約された地域課題を地域においてどのように共有していますか？
- 共有された地域課題はどのように解決に向けた協議が行われていますか？
- 協議された解決策等はどのように地域において共有されていますか？
- 解決策等はどのように取り組まれていますか？
- 現在の仕組みに課題はありますか？どのような課題ですか？

都道府県名：

受講者氏名：

【フロー図】

【課題】

地域課題を抽出し解決に向けた協議着を行うためのフロー図（例）

＜課題説明＞

- 貴方の地域において、個の課題はどのような流れ（仕組み）で地域の課題として共有・協議されていますか。その流れについて貴方がイメージするフロー図を作成してください。
- 協議会の既存の組織図を活用してフローを示されることは大丈夫ですが、組織図を転載するのみで、フローが示されていないということは避けてください。
- 参考として例を添付しています。

（問）

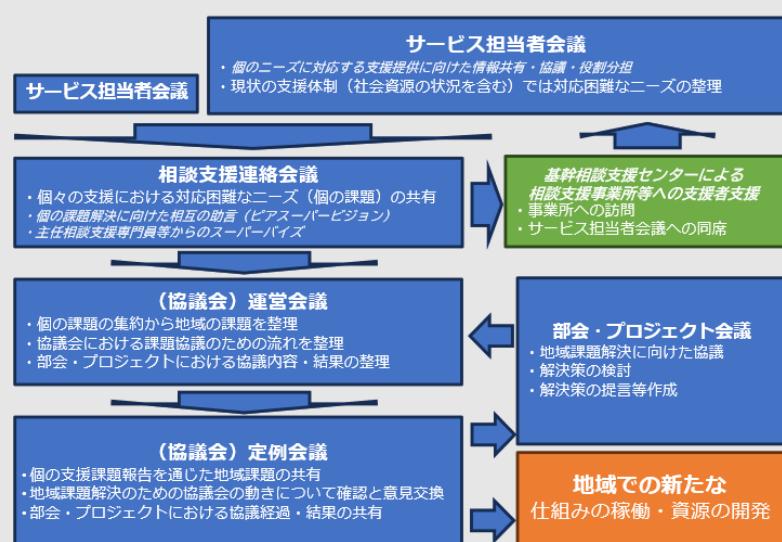
- 個の課題をどのように共有していますか？
- 個の課題から地域課題をどのように見出していますか？
- 個の課題から集約された地域課題を地域においてどのように共有していますか？
- 共有された地域課題はどのように解決に向けた協議が行われていますか？
- 協議された解決策等はどのように地域において共有されていますか？
- 解決策等はどのように取り組まれていますか？
- 現在の仕組みに課題はありますか？どのような課題ですか？

都道府県名：

受講者氏名：

【フロー図】

（例）〇〇市における個の課題が地域課題として共有・協議される流れ



【課題】

- 相談支援事業から見える地域課題の提起が、障害者相談支援事業受託事業者からしか行われていない。
- 部会・プロジェクトの運営が協議会事務局任せとなっている。
- 課題解決のための提言書等を取りまとめるが、行政や地域の各事業所（法人）の実践につながらない。